

## 生徒による「まぐろはえ縄漁業の効率化の可能性について」の研究

### じっしゅうせん しょうなんまる を実習船「湘南丸」乗組員に発表している様子

海洋科学高校の大型実習船「湘南丸」の乗組員が毎年行っている研修会(令和6年3月1日)において、生徒が課題研究で取り組んだ「まぐろはえ縄漁業の効率化の可能性について」の研究発表を湘南丸乗組員の前で行った様子です。発表したのは3年生の遠洋航海実習でまぐろはえ縄実習を経験し、この日に卒業式を終えたばかりの内田航太郎君(船舶運航科)です。湘南丸が実際にまぐろはえ縄漁業実習を行った過去3航海のデータを分析して、はえ縄漁業の効率化の可能性について乗組員の前で発表しました。内田君は現在、水産系の大学に進学して将来は水産や漁業に関わる仕事を目指して勉学に励んでいます。

生徒の研究発表を熱心に聞いている湘南丸乗組員の方々



